

環境マネジメント

カシオは、年2回開催するグループ環境会議を軸に、環境経営を実践しています。環境会議で審議し承認された行動目標やボランタリープランは、グループ全体で、本業を通じて着実に推進されています。

推進体制

2007年度までのカシオの環境マネジメントシステムの構築件数は、国内外のグループ会社を含めて20件、該当事業所数にして31カ所に及んでいます。1997年に国内2工場がISO 14001認証を取得して以来、現在では、グローバル規模で従業員比で83%までカバーされるまでになりました。

その推進体制は、カシオの環境政策や行動目標などの計画の審議・決定を行う「カシオ環境会議」を頂点にして、その傘下にグループ共通の環境テーマを扱う各種専門委員会が構成され、さらに各事業所やグループ会社が実行部門として環境改善活動を推進する形になっています。

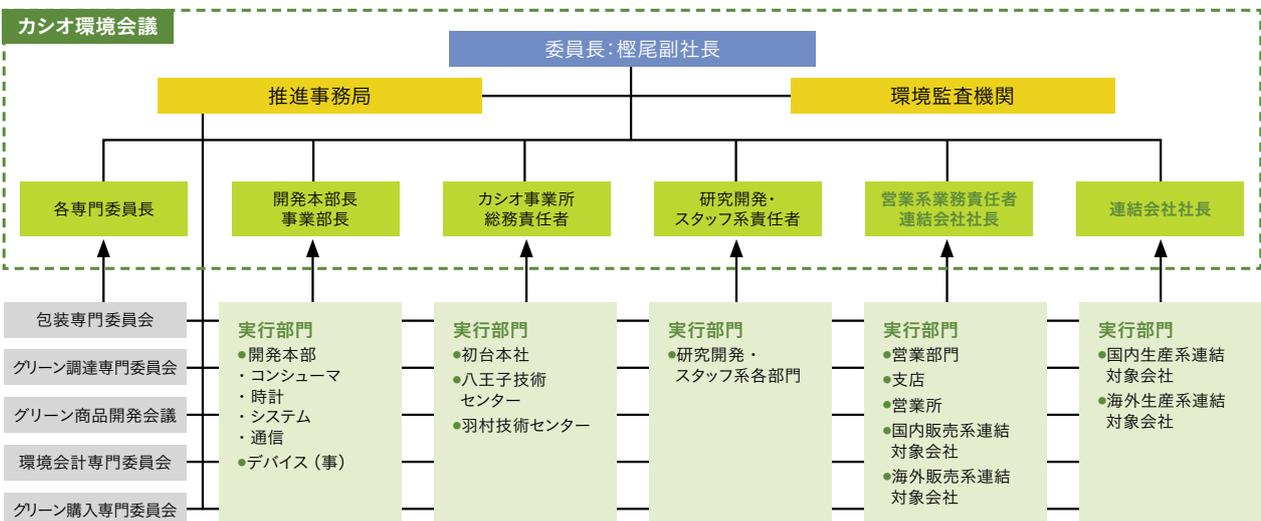
このようにして、環境政策や重要な環境目標、すべての領域における数値目標と行動計画、グローバル規模での運用と内部監査、そして環境経営報告の適時公開を推進し、環境経営の網羅性と実効性の向上を目指しています。

カシオ版環境マネジメントシステムの導入

カシオは、環境マネジメントシステムの網羅性を高めるために、ISO 14001の認証取得と並行して、2007年度に独自のカシオ版環境マネジメントシステムを立案しました。これは、国内外の非生産系関連会社を中心とした小規模事業所に適用するシステムです。

運用の簡便性など、現場に即した項目に特化しています。2008年度中に国内拠点から運用を開始します。

カシオ環境保全委員会 運営体制



環境経営情報システム

カシオは国内外グループ52社の環境負荷および環境会計の実績を正しくかつ迅速に把握するため、環境経営情報システムを導入します。今までの人手に頼った方法とは異なり、イントラネット経由で環境負荷と環境会計実績データを、自動集計し分析できるツールです。2008年10月から第一次運用を開始する予定です。これにより、環境活動のPDCAサイクルの「見える化」を推進し、よりタイムリーな環境経営を支援します。

国内営業拠点初のISO 14001認証を取得

西日本ハブセンターでは、ISO 14001認証取得に向けて、2007年より、紙、電気の使用量削減、環境配慮型製品の拡販など、営業所所員一丸となりさまざまな活動を行ってきました。2008年1月、その活動が認められ、国内営業拠点初のISO 14001認証を取得しました。

所員一人ひとりの環境に対する意識が高まったのは確実であり、それはとても大切なことだと思います。2008年度はさらに他の営業拠点も取得を目指し、活動を開始します。カシオマンから、その家族、町、そして社会へと、環境に対する意識が広まることを願います。



国内営業管理部
西日本ハブセンター
牧戸 正行

>>>資料・P⑦「ISO 14001認証取得一覧」